

北中学校だより

北風

(かえで)

令和6年7月9日(火)

第21号 東金市立北中学校

〒283-0803 東金市日吉台1-20

TEL 0475-50-2288

発行者：校長 久我 和廣

学校教育目標

創 【未来を拓く】

～輝く瞳、笑顔とあいさつ、光る汗～
めざす生徒像 「気づき 考え 行動する」生徒

- (1) 学び合い、高め合う生徒⇒輝く瞳・・・(知)
- (2) 認め合う、心豊かな生徒⇒笑顔とあいさつ・・・(徳)
- (3) 心身共に健康な、たくましい生徒⇒光る汗・・・(体)

めざす学校像

基本理念【ひとりの生徒を 粗末にしたとき 教育は その光を失う】

- (1) 学力向上に努める学校
- (2) あいさつと歌声が響く学校
- (3) 安全で安心してすごせる学校
- (4) 清潔で花いっぱい学校
- (5) 地域とともに歩み、信頼される学校



自分の望む方向に自分を変えていける そのための最初の一秒を始める

元新聞記者のマルコム・グラッドウェル氏が『天才！ 成功する人々の法則』の本に、一流のミュージシャンやアスリートは専門性を高めるため（又は大きな成功を収めるため）に1万時間もの練習が必要だと著し、世に広まりました。（1万時間の法則）

1万時間と聞いて、生徒の皆さんは、どのくらいの長さになるか、想像がつかますか？

例えば、多くの人に感動を与えるギターリストになりたいと思い、毎日3時間の練習を1年間続けるとします。

$3(\text{時間}) \times 365(\text{日}) = 1095(\text{時間})$ となり、1万時間になるには9年と49日かかります。約10年です。15歳のみなさんだったら、25歳になっているわけです。

もちろん、10年かからず、一流のギターリストになるかもしれないし、10年以上かかる可能性もあります。でも、25歳から先の人生、奏でるギターの音で感動させられているとしたら、うれしいですよ。

なりたい自分を想像して、そんな自分にたどり着くしくみ（過程）を考えて、行動を積み重ねていくことで、どんな自分にだってなれることができます。それは、何歳でもできること。

1万時間の法則も「こういう自分になりたい」と思って行動し始めた「最初の一秒」から始まる。

「考える。動く。自由になる。」著：工藤勇一 より引用

志固ければどんなことでも 成し遂げられる！

『志』とは「心に決めた目的や望み」のことです。例えば野球選手がバッターボックスに入ったとき、ピッチャーからの投球を打てるか打てないかと考えていたのでは、ヒットなど生まれるはずはありません。必ず打ってやるという強い気持ちでピッチャーに向かい、うまくミートしたときにヒットが打てるものです。このように「何かやるぞ！！」という強い気持ちがあるときは、どんな困難にぶつかっても成し遂げることができるということです。

『志あるものは事ついに成る』

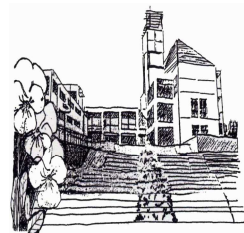
『大志、大望をいだけ』

『少年よ 大志を抱け』

など、同じような言葉はたくさんあります。特に最後の「少年よ 大志を抱け」という言葉はあまりにも有名で、多くの人が知っていると思います。若者よ、学生諸君よ、大きな志をもちなさいということなのです。

これは、今の北海道大学農学部的前身である札幌農学校のクラーク博士が、学生たちに与えた言葉だといいます。

今、「夢は何ですか？」尋ねても、答えられない子どもたちがいます。夏休み、ぜひご家庭でも子どもと一緒に食卓を囲んで、将来の夢や進路について語り合う時間を作っていただけるとありがたいです。（夢の先が志しです。）



私自身、小さい頃（小学生）になりたい職業がいっぱいありました。テレビの影響か、スポーツ選手や料理人等。中学1年生の時、周囲の影響と環境で正式な夢（将来）を考えはじめ、中学2年生で数学の教員になりたいと決め、その道筋について考え行動していたと思います。

生徒の皆さんも、いつ考え始めるかは、人それぞれ違います。そのタイミングがきた時、真剣に自分自身に向き合い、ビジョンを決めていけるよう期待しています。